

特定操縦免許制度に係る乗船履歴証明書類 記載要領等

D②	小型漁船
D③	遊漁船

→ 第3号様式 特定操縦免許制度に係る乗船履歴証明書(一般用)
又は第4号様式 特定操縦免許制度に係る乗船履歴証明書(自己証明用)

<記入例> 第3号様式(一般用)の場合

第3号様式
特定操縦免許制度に係る乗船履歴証明書(一般用)

(申請者)

氏名	海技 華子	乗船期間中の勤務先	職名	船長
本籍の都道府県名	北海道		名称	MLIT海運(株)
生年月日(西暦)	1990年2月2日		所在地	〇〇県××市△△1-2-3
現住所	東京都千代田区霞が関2-1-3		電話番号	XXX-XXX-XXXX

地方運輸局長
運輸支局長 殿
海事事務所長
海技 華子 の乗船履歴は下表のとおり相違ないことを証明します。 2024年 5月 30日(記名) 山田 太郎
(申請者名)

乗船順位	船舶名	船舶所有者	総トン数	航行する区域	職名	乗船した年月日	下船した年月日	乗船期間
1	海技丸	山田太郎	19トン	限定沿海	船長	2020年5月1日	2020年9月30日	5月0日
2	〃	〃	〃	〃	〃	2021年5月1日	2021年9月30日	5月0日
3	〃	〃	〃	〃	〃	2022年4月1日	2022年10月31日	4月6日
4						年 月 日	年 月 日	年 月 日
5						年 月 日	年 月 日	年 月 日
6						年 月 日	年 月 日	年 月 日
7						年 月 日	年 月 日	年 月 日
8						年 月 日	年 月 日	年 月 日
※照合者認印		※(認定)		年 月 日	期間の合計	1年 2月 6日		

注1. ※欄は記入しないでください。

乗船履歴のカウント方法

- 乗船期間中の任意の1ヶ月間の運航実績が月20日以上ある場合
 - 漁業許可又は業務規程上の事業期間と雇用期間の重複期間を乗船期間としてカウント
 - (例)1年のうち5月～9月末の5ヶ月間に運航を行う船舶の船長として20年～21年まで乗船
乗船期間→5ヶ月×2=10ヶ月
 - 乗船期間中の任意の1ヶ月間の運航実績が月20日未満の場合
 - 事業許可等における事業期間と運航実績の割合(n/20)で算出した日数をカウント
 - (例)船長業務に1年間従事した船舶の、任意の1ヶ月の運航実績が15日
乗船期間→15/20×360日=270日
- 30日を1ヶ月、360日を1年として扱います。
 - 病気休暇、有給休暇その他の自己都合による休暇を取得した期間は乗船日数にカウントできませんので、「乗船日数」の欄にはこれらを除外した日数を記入してください。